

福祉施設等の被災状況

■保育所の被災状況

○市立保育所

10保育所中、7保育所が
津波被害(4保育所が全壊)

※全壊の保育所は、
統合等を実施。

代替施設で保育を実施しています。



被災直後の野蒜保育所

○保育所児童の犠牲者 11人(保護者が迎えに来た後の犠牲)

■震災による遺児・孤児

	遺児	孤児
未就学	17人	—
小学生	22人	1人
中学生	5人	4人
高校生など	26人	1人
計	70人	6人

※人数の内訳は2013年(平成25年)4月時点のもの。

※全員、親族・里親の元へ移りました。

■老人介護施設等の被災状況

○特別養護老人ホーム…3施設中、2施設が津波被害(全壊1施設)

※震災後の生活環境の変化などにより入所希望が増加しましたが、入居基準の特例措置(定員を超えての入所)により、施設への入所依頼に対応。

○認知症高齢者グループホーム…5施設中、4施設が津波被害(全壊2施設)

※2施設は移転して再開(うち1施設は仮設プレハブで再開)。

○デイサービスセンター…9施設が津波被害。8施設が再開し、1施設は休止

※2施設は移転して再開(うち1施設は隣接する松島町へ移転)。

保健医療施設の被災状況

■医療機関等(歯科、薬局を除く)の被災状況

○病院・医院

19医療機関(病院2、医院17)中、14医療機関が津波被害を受け、2医院が全壊(医師も死亡)。

※2医院が全壊した野蒜地区への医療機関の設置が課題となっています。

■被災者への医療支援など

○救護所の開設

・臨時医療救護所…2011年(平成23年)3月14日から3月19日までの6日間、市内の医療機関、薬局などの協力により、矢本保健相談センター内に開設。受診者数 のべ881人。

・仮設診療救護所…3月20日から5月6日まで熊本赤十字医療救護チームが矢本保健相談センター、市役所鳴瀬総合支所に開設。

3月20日から3月26日まで特殊医療救護車両を活用し、JAいしのまき鳴瀬支店前に設営。その後、市役所鳴瀬総合支所前に仮設テント設営。受診者数 のべ1,866人。



矢本保健相談センター内臨時医療救護所

○医療支援(避難所巡回診療)

・2011年(平成23年)3月13日から6月30日まで赤十字病院、各自衛隊医療チーム、国立国際医療研究センター、国立病院機構ほかのべ704チームによる医療支援。受診者数 のべ10,415人。

○震災時の保健師等の対応

・津波被災者(低体温症、意識レベル低下者)の看護、重篤者の医療機関搬送。

・被災者のうち軽症者の救護、臨時医療救護所診療補助。

・矢本保健相談センター内に避難所を設置(乳児、妊婦、感染症罹患児^{りかん}、高齢者を受け入れ)。

・避難所内の体調急変者、要支援者の情報収集、調整と対応

・人工透析患者を医療機関に送迎。

・医療救護チームへの対応、避難所巡回診療(こころのケアを含む)の医療チームの確保・調整。

・避難所健康管理リーダーと連携による健康管理(急変者対応、感染症対策、食中毒予防、薬品、生活物資などのニーズ把握し担当課に連絡調整)。

・浸水地区全戸訪問による「健康支援調査」実施。
実施:54行政区7,804世帯 調査数22,198人

・教職員、保育士などに対する心のケア研修会を実施。

・小中学校こころのケアアンケート調査、学校訪問を実施。

・仮設住宅入居者健康相談会を実施。

・仮設住宅入居者個別支援を実施。